

じんけん啓発推進員だより

発行：尼崎市人権啓発推進員事務局

尼崎市東七松町1-23-1 公益社団法人尼崎人権啓発協会内

TEL 06-6489-6815 / Fax 06-6489-6818 / E-mail : hcg22505@bcc.bai.ne.jp

人権啓発推進員とは・・・

市民一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現に向けて、地域における市民主体の人権啓発活動を推進するために、尼崎市では平成17年7月から尼崎市人権啓発推進員が設置されました。



人権啓発推進員は、尼崎市内各地区の社会福祉協議会及び地区民生児童委員協議会や各地区で活動されている団体から推薦を受け、2年任期で地域における啓発活動を展開しています。

主な活動内容は、地域でのあらゆる場と機会において、人権が尊重されるコミュニティづくりに向けた地域での活動や人権啓発に係る事業などに参加するとともに、人権啓発推進企画員の中川喜代子先生がコーディネートする人権啓発推進員会議と研修会にも参加しています。



人権啓発推進企画員の
中川喜代子先生

尚、平成30年度から公益社団法人尼崎人権啓発協会がこの業務を尼崎市から受託し、事務局として実施しています。

第7期人権啓発推進員さんの紹介

中央地区 寺岡 洸市朗さん

谷 佳子さん

小田地区 下玉利 博志さん

福井 隆 さん

西田 和義さん

大庄地区 中島 信康さん

小寺 美佐緒さん

畑中 啓言さん

立花地区 佐藤 征一郎さん

日置 啓子 さん

菅原 寿美子さん

南本 久子さん

中谷 加代子さん

武庫地区 古田 一夫さん

中本 昌次 さん

辰己 はつ美さん

園田地区 中橋 一さん

奥田 菁一さん

活動報告

10月から3月の人権啓発推進員会議および研修会

10/11 第3回会議

テーマ：「台風等災害時における今後の対応について考えてみよう！」

講師の中川先生の進行で、11月8日実施予定の市危機管理安全局災害対策課による講話に向けて、先日の台風21号の各地域での被害状況や地域のリーダーとして取り組んだことで、困ったこと、課題などをまとめるため意見交換をしました。

10/25 第7回研修会

テーマ：「被差別部落の歴史から学ぶ」

講師の中川先生から、11月22日に予定している奈良市東之阪町での現地視察研修についての説明と、その事前学習として、東之阪町の歴史を「東之阪町の成立過程」の資料をもとに学習しました。また、下見の結果を事務局から説明をし、参加の呼びかけを行いました。

その後、質疑応答や意見交換をしました。



11/8 第4回会議

テーマ：「尼崎の防災について考えてみよう！」

講師の災害対策課清水係長から、尼崎の防災対策についてパワーポイントでくわしく説明をしていただき、中川先生から、前々回の研修会でまとめた台風21号の時の対応の課題をもとに質疑応答を行いました。

11/22 第8回研修会（視察研修）

テーマ：「奈良市東之阪地区のフィールドワーク」

尼崎市のマイクロバスを利用し、視察研修を実施しました。

- ①京都市の浄瑠璃寺本堂、三重塔、庭園等を拝観した後、昼食
- ②奈良市北人権文化センターで、上山所長から北人権文化センターの概要説明、松田支部長から東之阪町の歴史についての講話の後、東之阪町のフィールドワークを実施し、松田支部長に説明を頂きながら「市営住宅」「大日橋」「五劫院」、地区の寺の「光蓮寺」「水平社事務所跡」「北山十八間戸」を巡りました。





12/13 第9回研修会

テーマ：「被差別部落と学校教育」

講師の中川先生が体調不良でおやすみでしたので、当日資料を読んで学習していただきました。内容は、

①被差別部落と「神人」

前回奈良市に視察に行った地区の関係での追加説明用の資料で、中世における賤民についての資料の紹介

②奈良県における同和教育の取り組み

戦後、大きな課題になっていた部落児童の長欠問題を解決するため、部落出身教師が中心になって、家庭訪問を繰り返していた取り組みや、部落出身教師の会の発足の経緯についての資料の紹介

③奈良県における学校教育の現場での体験～松浦雄太郎さんをめぐるエピソード

奈良県での部落学校の設立の経緯と奈良県同和教育協議会の会長をされていた松浦雄太郎さんの思い出を記した資料の紹介

④尼同教だよりに記載した「尼崎の部落学校」についての資料の紹介

1/24 第10回研修会

テーマ：「被差別部落の実態と課題 ～奈良県を中心にして～」

講師の中川先生から、これまで国が実施してきた同和地区実態調査の結果表等の当日資料の説明がありました。1975年の実態調査結果から兵庫県、福岡県、大阪府、奈良県等の同和地区の特徴と、部落差別の結果生活保護率が一般に比べて非常に高かったことなどを各県の特徴と都市部と農村部との違いも含めてお話がありました。

次に、奈良県の部落産業の特徴であるグローブ産業についての経緯や、大正時代の調査から部落の人々の職業構成についての説明がありました。

最後に、前回、体調不良のため中川先生が欠席だったためできなかった資料から、奈良県における同和教育について、部落学校や部落出身教師の取り組みについてのお話がありました。



2/14 第5回会議

テーマ：「子どもの権利条約と児童労働」

講師の中川先生から、最近の悲惨な子ども虐待事件などから、日本が「子どもの権利条約」を批准していることを忘れていてのではないかとということで、「子どもの権利条約」について、具体的な解説がありました。次に児童労働に関する国際条約について触れ、「最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約（最悪の形態の児童労働条約）」、カカオ生産地での児童労働の現状についての解説の後、子どもの虐待についての定義や児童福祉法第25条にある通告義務などの解説がありました。その後中川先生おすすめの子どもの臓器売買をテーマにした映画「闇の子どもたち」、ノーベル文学賞を受賞したイギリスのカズオ・イシグロの「私を離さないで」という小説の紹介があり、最後に参加者の意見交換がありました。



2/28 第11回研修会

テーマ：「防災シュミレーションをしてみよう」

参加者を2グループに分け、神戸市消防局が作成した防災シュミレーションゲーム・ダイレクトロード「海辺の町」を実際に行い、防災意識の向上と地域での必要な取組みなどを考えました。

3/20 第12回研修会と第4回尼崎の隣人まつり

テーマ：「サバイバル・シチュエーションをしてみよう」

参加者を2グループに分け、神戸市消防局が作成した防災シュミレーションゲーム・ダイレクトロード「海辺の町」を実際に行い、防災意識の向上と地域での必要な取組みなどを考えました。



研修会終了後、尼崎の隣人まつりを開催し、食材や飲み物を持ち寄る中、人権啓発推進員OBも参加し、和気あいあいと交流を深めることができました。

《編集後記》

1年を振り返ってみると、推進員会議、研修会の他に、他市への視察があり、また、隣人まつりも年度初めと最終日の2回開催するなど、推進員の皆さんからも大変充実した年だったという声が多数ありました。第7期推進員にとっては、2年任期の最終年であり、企画員の中川先生は、1期から7期まで14年間お世話になりました。今年度でご勇退されますが、本当に長い間ありがとうございました。（事務局）